

2020年5月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 5月えんだより

5月の聖句 『あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ』

<イザヤ書 43 章 1 節>

春を感じる間もなく、経験をしたことの無い状況に遭い、初めて耳にする「緊急事態宣言」と毎日流れる感染症の情報に、子ども達も保護者の皆様も不安を募らせておられるかと思えます。園においても初めての出来事で、職種等を区別せずに、保育を必要とされるご家庭の子ども達の保育を実施することを決めたことで、混乱を招いたこととお詫び申し上げます。又ご家庭での保育に困難な状況である中でも、家庭保育にご協力いただいていますことを感謝申し上げます。現在、教職員も保育人数に応じて時差勤務や在宅勤務を交代で行う等の対応をさせていただいております。「(子ども達は)家で、どうしているのかな?」「早く逢いたいな」と、毎日の職員室の会話の中で、皆さんが登園されて来る日のことを思い、そして再開されてからの先を見て行こうと話をしております。

「誰も責めることはできない。」と語ったのは、春の甲子園の大会が中止と決まった時の若者達の言葉でした。一生懸命に打ち込み、犠牲にするものもありながら、ようやく手にしたものを失った時に、「どうして私が、どうして私たちだけがこんな目に遭うのか?」と理不尽な出来事に対して、他人を責めたりしてもおかしくない中で、考えさせられる言葉でした。そして、聖書が示すイエスの思いと神様の愛と言葉に気づかされます。「神は真実な方ですから、耐えることのできないような試練にあわせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます」<コリントの信徒への手紙 10 章 13 節>といわれます。

生きていく中でであらう災難に対して、試練があるのみではなく、その先に希望を見て歩むことの大切さを教えられます。又災難に遭う中で、人間の不安や恐怖、ストレスに対しても、神様は一人一人を愛する対象として守ってくださる存在であることも見出します。

災害の後には、今までとは異なる生活や価値が生まれたり、今までであるものが変わったりするかもしれません。しかし、一人一人の思いに目をやり、言葉にしてみても共有し、ゆったりとした思いで、規則正しい日常の生活と安全を守っていきたいと思います。一日も早く再開できることと平安な日常が来ることを心より祈っています。共に生きる社会のために一緒に頑張りましょう。

年主題聖句 「喜びと平和とであなたがたを満たす」

<ローマの信徒への手紙 15 章 13 節>

5月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	なんだろう	感じる
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> *まわりに目を向け、手を伸ばす *園生活や保育者に慣れ、安心して過ごす 	<ul style="list-style-type: none"> * 聖書の話や讃美歌に親しむ * まわりの人々、社会、世界の出来事に目を向けて恵みを分かち合う * 友だちや遊びの中で心を動かし、自ら関わろうとして一歩ふみ出す
讃美歌	このはなのように こども改 115	